

伝統工芸品等の ライセンス商品化について

～東京2020ライセンスングプログラム～

東京2020ライセンスング事務局 伝統工芸品室

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会

【東京2020ライセンス契約】 【公式ライセンス商品化手続き】

【伝統工芸品専門ライセンサー】

株式会社47CLUB

【商品製造・販売契約】

伝統工芸品団体・地域特産品生産事業者

都道府県説明会開催状況

都道府県	開催日	参加者数
北海道	-	
青森	11月28日	27名
岩手	12月26日	32名
宮城	12月13日	28名
秋田	-	
山形	12月12日	13名
福島	12月21日	34名
茨城	-	
栃木	-	
群馬	1月22日	55名
埼玉	1月21日	4名
千葉	1月30日	29名
東京	-	
神奈川	2月6日	-
新潟	1月18日	16名
長野	1月9日	20名
山梨	-	
静岡	2月7日	-
愛知	1月31日	27名

都道府県	開催日	参加者数
岐阜	12月17日	47名
三重	1月23日	36名
三重	1月23日	36名
富山	12月11日	18名
石川	12月5日	28名
福井	11月30日	45名
滋賀	11月30日	6名
京都	11月10日	33名
大阪	12月18日	5名
兵庫	12月21日	17名
奈良	-	
和歌山	12月17日	9名
鳥取	11月27日	6名
島根	-	
岡山	11月20日	20名
広島	2月7日	-
山口	-	
徳島	12月6日	21名
香川	11月20日	22名

都道府県	開催日	参加者数
愛媛	3月1日	
高知	11月21日	31名
福岡	1月31日	34名
佐賀	1月28日	40名
長崎	-	
熊本	12月25日	29名
大分	-	
宮崎	12月19日	10名
鹿児島	12月20日	23名
沖縄	調整中	

開催都道府県：34府県

※2019/2/25時点

- ① 国指定の「伝統的工芸品」 (232品目)
- ② 都道府県・自治体指定の「伝統工芸品」
- ③ ①と②の技術・文化・伝統を色濃く継承する「地域特産品」

東京2020公式ライセンス商品化

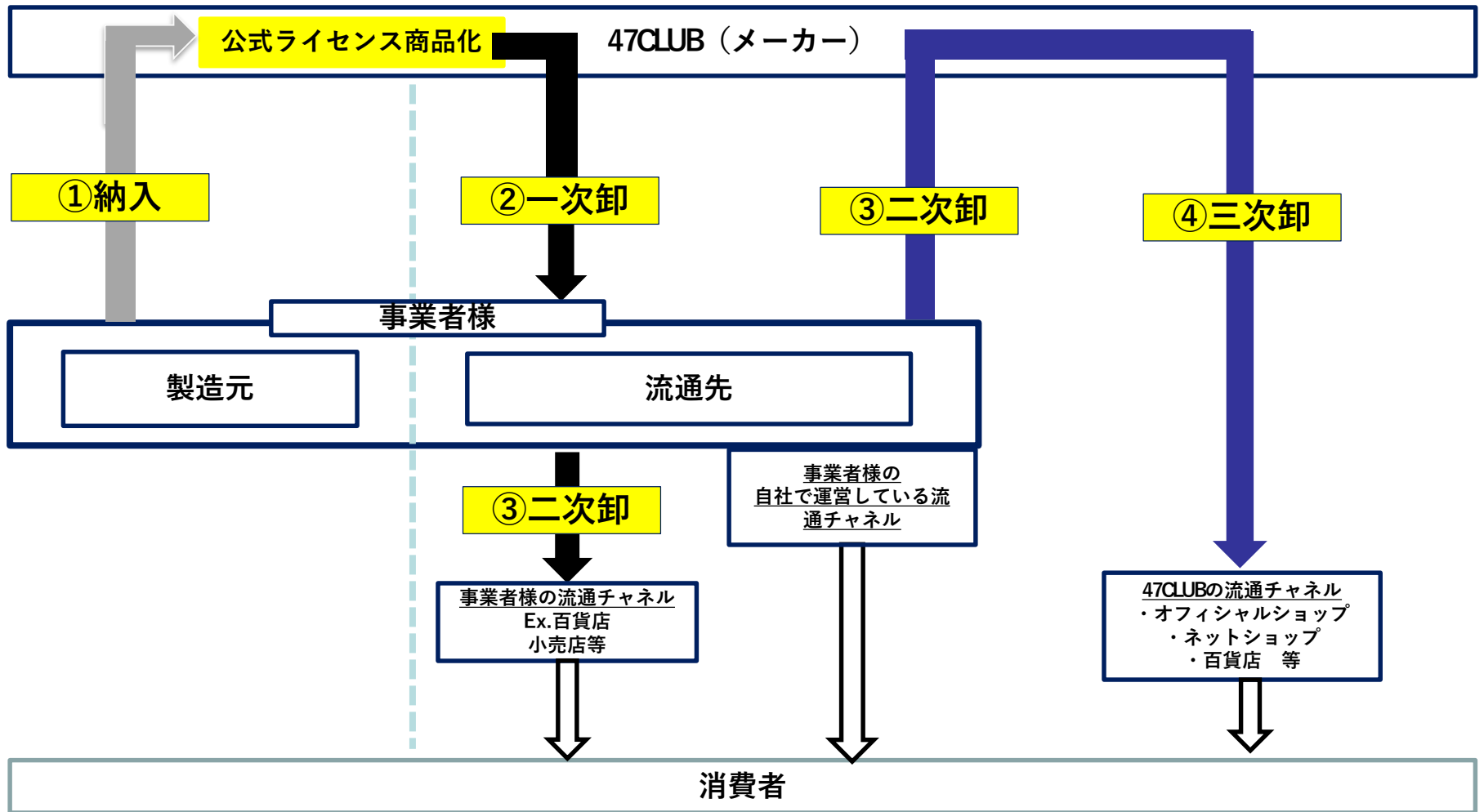
※商品化の対象とならない商品

1. 食品、飲料等
2. 喫煙具等
3. 仏壇、仏具等
4. 東京2020オリンピック・パラリンピックマーク等が商品に再現できない商品 (再現方法は応相談)
5. その他、I O C、I P C、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が承認できない商品

※東京2020ライセンスングの規定 (知的財産権保護、ブランド管理、持続可能性調達規範等) を遵守いただくことが商品化の条件となります。

商流について

事業者様は、製造と公式ライセンス商品の販売を行います。そのため、47CLUBとの契約は、製造委託契約（OEM契約）と販売契約の2種類を締結します。



※事業者様は、47CLUBのOEM製造委託先としての立場と流通先としての立場を担います。

※オフィシャルショップ等の47CLUB流通チャンネルについては、47CLUBよりご提案させていただき採用された商品に限ります。

【参加事業者様のお声】

全国の説明会会場で、参加事業者様より下記のようなお声をいただきました。
～事業者様からの声～

- 小ロットからできるため、参加しやすい。
- このようなチャンスを待っていた。ようやくできる見込みが立ちうれしい。
- 新たな取り組みを行ういい機会。単発の成果ではなく、オリパラ後も効果を継続させるよう取り組んでいただきたい。
- 自社で作る公式ライセンス商品をより魅力的に販売するためにも、他県の工芸品公式ライセンス商品も取り扱いができ、一緒に販売できると売りやすい。
- 工芸品目名を出すことが出来るのであれば、組合全体のPRになるため良い。都道府県名も合わせて紹介してもらえるとよりどこの県の工芸品か認知されるため、都道府県名も出せるようにしてほしい。

【参加事業者様のお声】

全国の説明会会場で、参加事業者様より下記のようなお声をいただきました。

事業者様の現状の課題 ～事業者様の声より

- 参画する障壁が低くなり是非やってみたいが、商品が売れるまでの、試作品製作など製造コストに不安がある。
- 販路は地元で小さく売っている程度、どこまで販売できるか不安。
- 中小企業単体では、まだハードルが高いかもしれない。産地組合/自治体が一体となり応援できるような仕組みがよい。
- 参加してみたいとは思いますが、エンブレムの再現性が難しい、デザインを考
えることが出来ない。
- 事業者名、生産者名を出せないことや広報PRに関する規制が厳しく、折り
合いを見つけるのが難しい。
- 自社ECで、海外含めて販路があるが、それを使えないのは非常に厳しい。



事業者様

福島県で赤べこを作っています。
エンブレムを商品に再現する技術や機械が無くて困っている。



福島県庁ご担当者様より
福島県ハイテクプラザご担当者様をご紹介いただく



現在、商品化に向けて進行中

1.本プログラムの周知

全国の都道府県主催で説明会を実施させていただきましたが、説明会に参加できなかった事業者様も多くいらっしゃると思います。是非、日頃お付き合いのある事業者様へご案内いただけますと幸いです。

2.デザインのサポートやマーク等の再現方法についてのサポート

上記の事業者様からの声にありますとおり、デザインやエンブレムの再現を行う技術的な課題を抱えた事業者様がいらっしゃいます。是非、商品化が進むよう事業者様へのご支援をいただけますと幸いです。

47CLUB商品化想定スケジュール

